



管理ツール 操作マニュアル

S01-05 ファイル統合設定

株式会社NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	S01-05_0
1.DataNature Smart 全体概要図	S01-05_1
2.基本操作	S01-05_2
2-1 ジョブの作成	S01-05_2
◆ファイルの指定	S01-05_2
◆関連付け設定	S01-05_3
◆出力項目の設定	S01-05_5

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

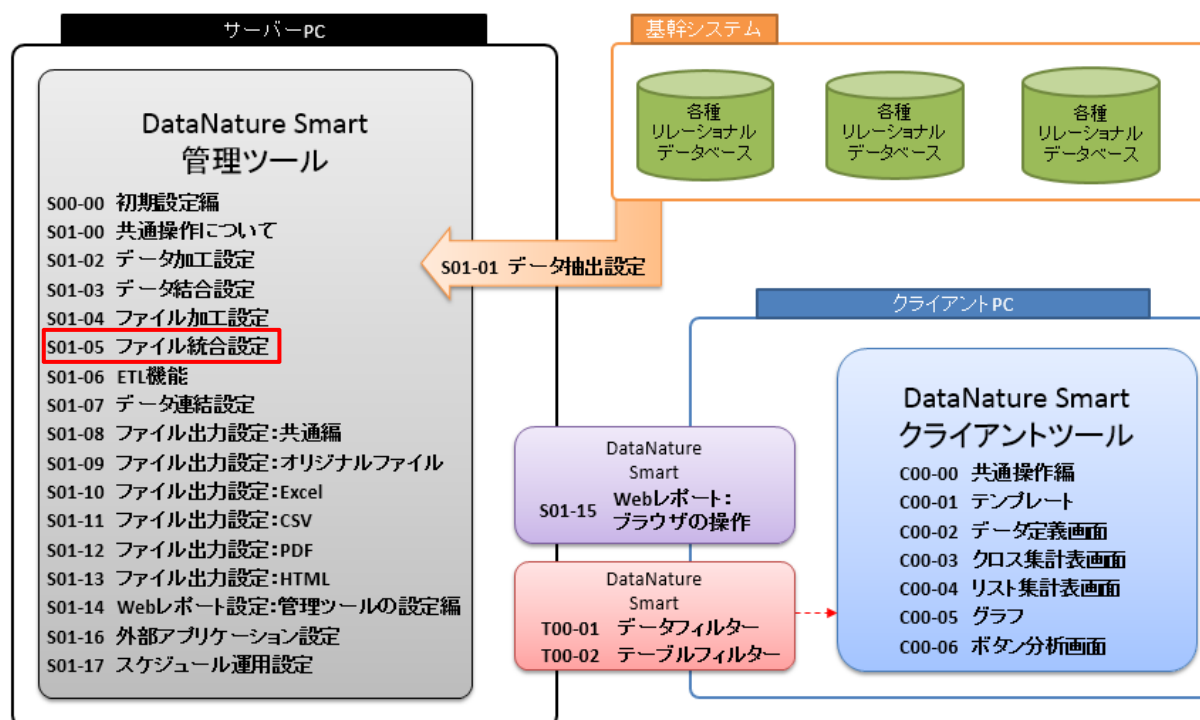
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

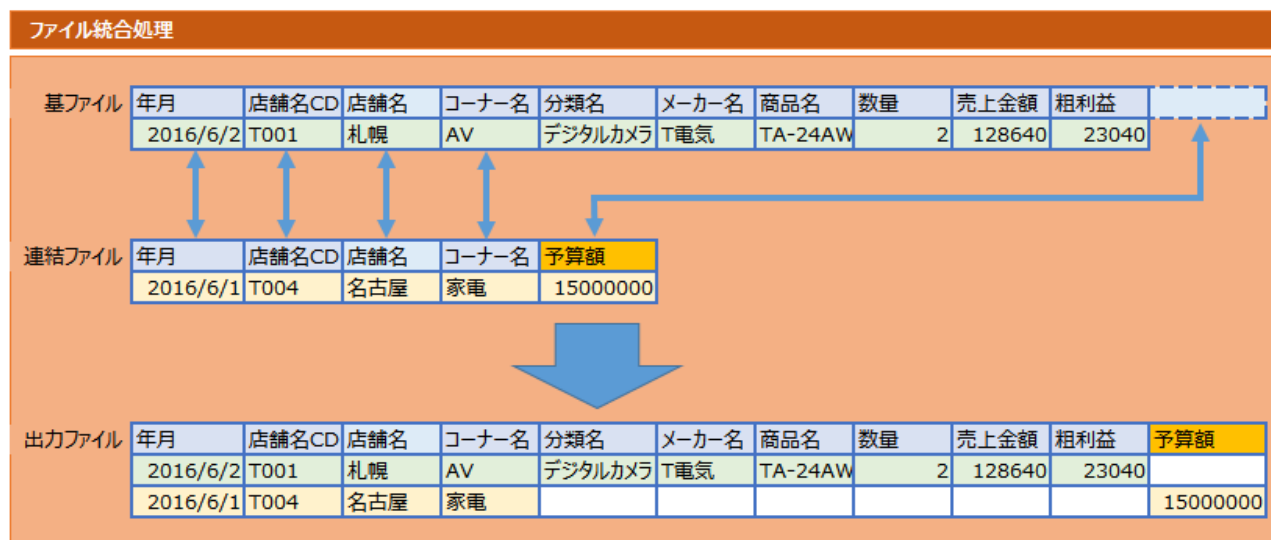
1. DataNature Smart 全体概要図

本マニュアルでは、S01-05 ファイル統合設定について記載しています。



データ連結設定のアペンド処理と同様に、基ファイルの終端に連結ファイルのデータレコードを連結し、一つのテキストファイルを作成します。

相違点は、基ファイルと連結ファイルの列項目を関連付け、データの出力位置を調整しながら連結したり、出力ファイルに新規列を追加し、連結ファイルの項目と関連付けることもできます。



※実績データと予算データをファイル統合したイメージ

2. 基本操作

2-1 ジョブの作成

ファイル統合設定では、基ファイルと連結ファイルの項目数や項目の並びが異なるファイルを対象に、基ファイルの終端に連結ファイルのデータレコードを連結し、一つのテキストファイルへ出力します。

◆ ファイルの指定

①



DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブ設定]-[ファイル操作系作成]-[ファイル統合設定]をクリックします。

([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[ファイル統合設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])

▼[ファイル統合設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

②

[ジョブ名:]テキストボックスに、ジョブ名を入力します。

③

[コメント:]テキストボックスに、ファイル統合設定についての説明などを任意に入力します。

④

続いて、各種ファイルを設定します。

1. 基ファイルの設定 連結処理の基となるファイルを指定して、そのファイルの「項目行の有無」を指定します。
2. 連結用ファイルの設定 基ファイルに連結するファイルを指定して、そのファイルの「項目行の有無」を指定します。
4. 出力ファイルの設定 連結した結果を出力するファイルと出力項目を指定します。



「項目行の有無」で「なし」を選択した場合は、基ファイルの 1 行目をデータ開始行とみなします。出力ファイルの先頭レコード行には、項目名称行(「項目 001」、「項目 002」…)が自動的に挿入されます。

◆ 関連付け設定

- ① 関連付けの設定を行うため、「関連付け項目」欄の参照ボタンをクリックします。

▼「関連付け設定」ダイアログボックスが表示されます。



ここで表示される項目名は、基ファイル、連結用ファイルの 1 行目にあるデータです。

なお、「項目行の有無」欄で「なし」を選択した場合は、「項目 001」、「項目 002」のような連番が表示されます。



データ連結設定のアペンド処理とは異なり、項目の関連付けが必要です。

関連付けをしない項目は、連結用ファイルのデータが空になります。

ここでは、下図のような構成のデータファイルを例に設定します。

(実績データと予算データをファイル統合し、予算対比表を作成するためのデータを作成します)

基ファイル

年月	店舗名CD	店舗名	コーナー名	分類名	メーカー名	商品名	数量	売上金額	粗利益
2016/6/2	T001	札幌	AV	デジタルカメラ	T電気	TA-24AW	2	128640	23040

連結用ファイル

年月	店舗名	店舗名コード	コーナー名	予算額
2016/6/1	名古屋	T004	家電	15000000

ファイルの特徴：

- 2つのファイルの項目数が異なる。
- 「店舗名 CD」と「店舗名コード」の位置が異なる。
- 「店舗名 CD」と「店舗名コード」のように項目名称が異なる。

- ② 関連付けたい項目(予算額)が連結用ファイルにあって基ファイルにない場合は、「基ファイル」の項目リストへ新しい項目を追加します。「項目名:」欄のテキストボックスに項目名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

▼追加した項目の項目番号の左側に✔を表示します。選択されていないときは項目名が青字で表示されます。



基ファイルに空の項目を追加することもできます。その場合、連結用ファイルとの関連付けは不要です。

③ [自動登録]ボタンをクリックします。

▼ [項目ペア一覧:]に、[基ファイル]と[連結用ファイル]の項目リストで、名称が合致する項目が自動的に登録されます。

項目ペア一覧:					自動登録	項目ペア登録
No	基ファイル項目名	項目番号	連結用ファイル項目名	項目番号		
1	年月	1	年月	1		
2	店舗名	3	店舗名	2		
3	コーナー名	4	コーナー名	4		
4	予算額		予算額	5		

④ 項目名称が異なる項目同士(「店舗名 CD」「店舗名コード」)を登録するには、[基ファイル]と[連結用ファイル]の項目リストから関連付けたい項目を両方の枠でひとつずつ選択します。

▼選択した項目番号欄の左側に✔を表示します。

基ファイル + 追加項目

項目名: 追加

項目番号	項目名
1	年月
✔ 2	店舗名CD
3	店舗名
4	コーナー名
5	分類名
6	メーカー名
7	商品名
8	数量
9	売上金額
10	粗利益

基ファイルプレビュー... 削除

連結用ファイル

項目番号	項目名
1	年月
2	店舗名
✔ 3	店舗コード
4	コーナー名
5	予算額

連結用ファイルプレビュー...

項目ペア一覧: 自動登録 項目ペア登録



項目名称またはその一部の文字列をキーワードにして関連付ける項目を検索することができます。

[検索:]テキストボックスに、キーワードを入力し、[基ファイル]または[マスターファイル]にある 🔍 をクリックすると、該当する項目番号欄の左側に✔を表示し、関連付ける項目として設定できます。

⑤ [項目ペア登録]ボタンをクリックします。

▼[項目ペア一覧:]に登録されます。

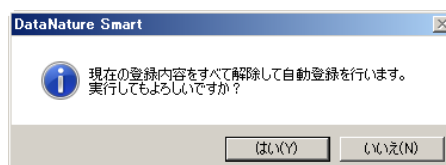
項目ペア一覧:					自動登録	項目ペア登録
No	基ファイル項目名	項目番号	連結用ファイル項目名	項目番号		
1	年月	1	年月	1		
2	店舗名	3	店舗名	2		
3	コーナー名	4	コーナー名	4		
4	予算額		予算額	5		
5	店舗名CD	2	店舗コード	3		



一度自動登録を実行し、再度自動登録を実行しようとする

と、右図のメッセージが表示されます。

既に項目名称が異なる項目同士を関連付けていると、解除されてしまいますのでご注意ください。



⑥ [OK]ボタンをクリックします。

▼[関連付け設定]ダイアログボックスが閉じ、[ファイル統合設定のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。「設定済」と表示されます。

日 3.関連付け	関連付け項目	設定済
----------	--------	-----

◆ 出力項目の設定

- ① 出力する項目を指定するため[出力項目]欄の参照ボタンをクリックします。
▼[出力項目]ダイアログボックスが表示されます。

- ② [項目選択]欄に表示されている項目リストから、出力したい項目を選択し、[追加>>]ボタンで追加します。
[Ctrl]キーを押しながら項目を選択すると、複数の項目を同時に選択できます。
すべての項目が出力対象となる場合は、[全選択]ボタンをクリックします。
▼[出力イメージ]欄に、基ファイルと連結用ファイルの先頭 5 行のデータを表示します。



[選択済み項目]の一覧リストでは、項目の並び順を編集することができます。順序を編集したい項目を選択し、右側にある[▲]/[▼]ボタンで移動してください。

- ③ 設定後、[OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
▼[データ連結設定のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。[出力項目]欄に「設定済」と表示されます。



[実行]ボタンをクリックすると、[読み込み件数の設定]ダイアログボックスが表示され、件数を限定してテスト実行することができます。

4

設定が完了しましたので、[OK]ボタンをクリックし、ジョブを登録します。

▼[ファイル統合設定のプロパティ]ダイアログボックスが閉じ、管理ツールの画面に戻ります。設定した内容がプロパティ表示領域に表示されます。

